



雲仙市

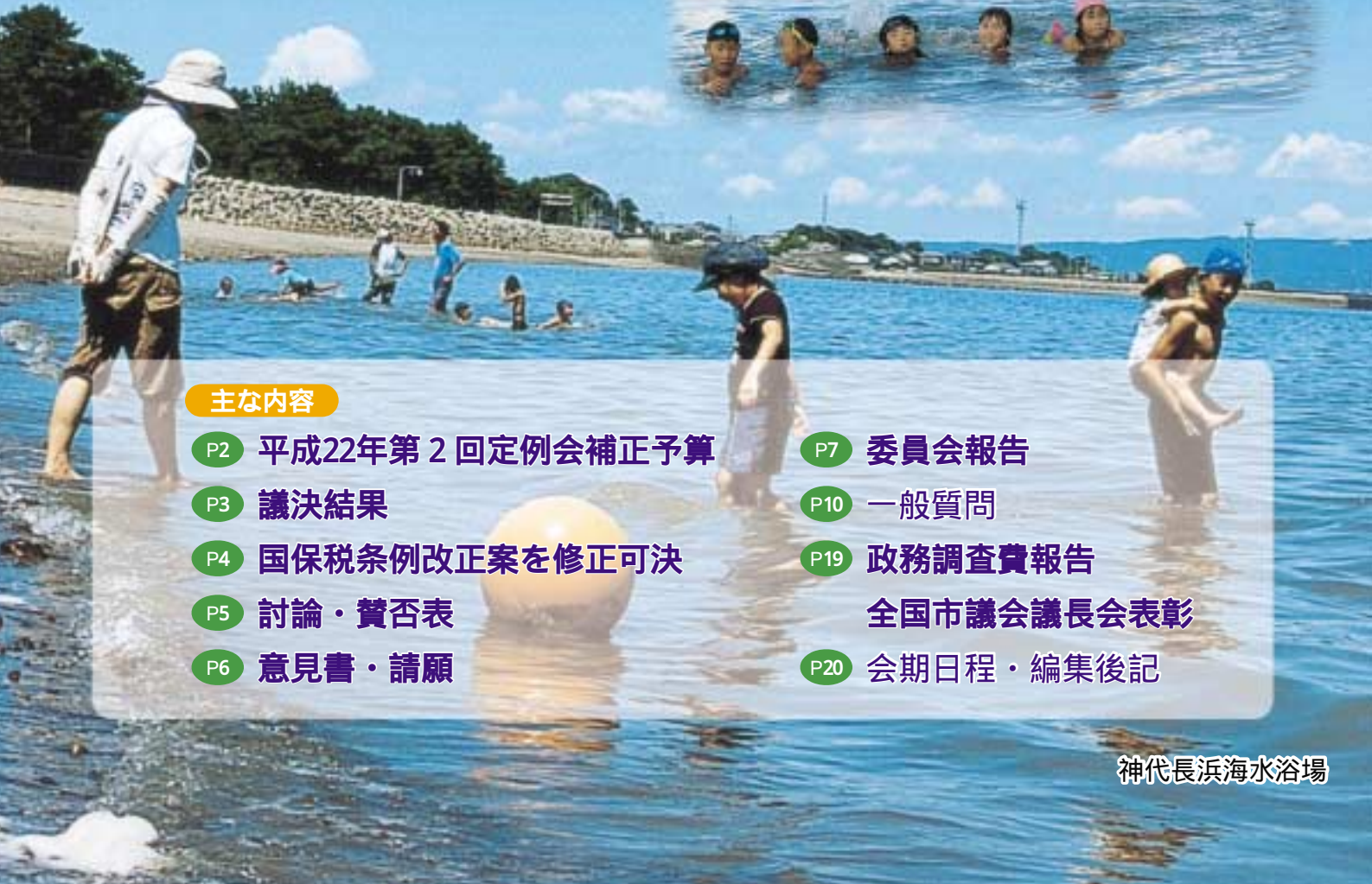
UNZEN City Assembly

# 議会季刊

21号

平成22年8月1日発行

開かれた市政推進のためのコミュニケーション誌



## 主な内容

P2 平成22年第2回定例会補正予算

P3 議決結果

P4 国保税条例改正案を修正可決

P5 討論・賛否表

P6 意見書・請願

P7 委員会報告

P10 一般質問

P19 政務調査費報告

全国市議会議長会表彰

P20 会期日程・編集後記

## 平成22年度一般会計補正予算（第1号）

### コミュニティ助成事業費 820万円

宝くじの事業収入を財源とし、自治会などが行うコミュニティ活動に助成するもの。

（事業内容）

- ・萩の本自治会（吾妻町） 250万円  
公園整備（地盤整備、芝張、ブロックなど）
- ・神代鍋島塾（国見町） 230万円  
まちおこし備品購入（よろい、かぶと等）
- ・西里自治会（国見町） 100万円  
伝統芸能「浮立」備品整備（太鼓、笛など）
- ・布江自治会（吾妻町） 240万円  
伝統芸能「浮立」備品整備（太鼓、台など）

### 担い手育成・確保対策整備 交付金事業

9,614万円

国の担い手育成・確保対策整備交付金事業補助金を活用し、ハード面に対する支援を総合的に実施する。

（事業内容）

- ・新規就農者補助事業  
4件 1,205万円
- ・融資主体型補助事業  
36件 4,659万円
- ・共同利用施設補助事業  
2件 3,750万円



西里自治会（国見町）「浮立」

### 商品券発行事業費補助金

1,132万円

雲仙市商工会が実施する商品券発行事業に対して、市が補助金を交付する。

（事業内容）

- ・プレミアム商品券発行事業  
（発行総額1億1千万円）  
1,076万円
- ・共通商品券発行事業 56万円  
（発行総額5千万円）

## 平成21年度一般会計補正予算（第9号）

<主な歳入>

（単位：千円）

項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
市民税 個人 現年度分	1,035,073	62,000	1,097,073
地域活性化・公共投資臨時交付金	0	202,831	202,831
安全・安心な学校づくり交付金	287,797	32,760	255,037
減債基金繰入金	417,919	417,919	0

<主な歳出>

項目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
減債基金積立金	24,783	757,491	782,274
雲仙市営農環境システム整備事業	29,934	3,904	26,030
市道小浜仁田峠循環線利用適正化事業	23,534	12,456	11,078
安全・安心な学校づくり交付金事業	501,522	99,781	401,741

# 平成22年第2回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果
請願 第1号	入札参加資格に関する請願	採 択
第 47 号	専決処分した事件の承認について（雲仙市税条例の一部を改正する条例）	承 認
第 48 号	専決処分した事件の承認について（雲仙市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	承 認
第 49 号	専決処分した事件の承認について（雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
第 50 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市一般会計補正予算（第9号））	承 認
第 51 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））	承 認
第 52 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市老人保健特別会計補正予算（第2号））	承 認
第 53 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	承 認
第 54 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号））	承 認
第 55 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第5号））	承 認
第 56 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市と畜場特別会計補正予算（第1号））	承 認
第 57 号	専決処分した事件の承認について（平成21年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第4号））	承 認
第 58 号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	<b>修正可決</b>
第 59 号	雲仙市歴史資料館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第 60 号	平成22年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
第 61 号	平成22年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
第 62 号	平成22年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
第 63 号	平成22年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
第 64 号	平成22年度雲仙市水道事業会計補正予算（第1号）案について	原案可決
第 65 号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
第 66 号	岳辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
第 67 号	宮ノ地辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
第 68 号	金山・八斗木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第 69 号	守山高部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第 70 号	山田高部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第 71 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
第 72 号	平成22年度雲仙市一般会計補正予算（第2号）案について	原案可決
第 73 号	工事請負契約の締結について	原案可決

# 国民健康保険税条例改正案 議会で修正可決 【所得割額10%引上げを5%に】

今回提案された国民健康保険税条例改正案は次のとおりで、一度に大幅な引き上げの条例案が提出されました。

平成21年度

区 分	税 率 ( 額 )			合 計
	医療分	支援分	介護分	
所得割	7.5%	1.5%	1.3%	10.3%
資産割	24.0%	6.0%	5.0%	35.0%
均等割	24,000	5,000	7,400	36,400
平等割	24,400	6,600	4,600	35,600
課税限度額	470,000	120,000	100,000	690,000

平成22年度改正案

区 分	税 率 ( 額 )			合 計
	医療分	支援分	介護分	
所得割	8.2%	1.7%	1.5%	11.4%
資産割	24.0%	6.0%	5.0%	35.0%
均等割	25,200	5,300	7,800	38,300
平等割	25,700	7,000	4,800	37,500
課税限度額	500,000	130,000	100,000	730,000

- ・課税限度額：医療費分3万円、後期高齢者支援1万円を引き上げ  
課税限度額計69万円を73万円に
- ・所得割額：10%、平等割額：5%、均等割額：5%を引き上げ

被保険者の税負担緩和のため、所得割の引き上げ率を半分とする修正案を文教厚生常任委員会で可決し、本議会で賛成多数により可決されました。

## 国民健康保険税条例 議会修正案

区 分	税 率 ( 額 )			合 計
	医療分	支援分	介護分	
所得割	7.9%	1.6%	1.4%	10.9%
資産割	24.0%	6.0%	5.0%	35.0%
均等割	25,200	5,300	7,800	38,300
平等割	25,700	7,000	4,800	37,500
課税限度額	500,000	130,000	100,000	730,000

### 国保税所得割引き上げの比較

平成21年度国保税の所得割  
10.3% (医療分7.5%、支援分1.5%、介護分1.3%)  
平成22年度改正案の所得割；10%引上げ  
11.4% (医療分8.2%、支援分1.7%、介護分1.5%)  
議会修正案の所得割：5%引上げ  
10.9% (医療分7.9%、支援分1.6%、介護分1.4%)

# 討 論

## 雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案に対する修正案 可決

### 賛成討論

今回提案された国保税の改正案は、課税限度額を4万円引き上げ、また所得割10%、平等割5%、均等割5%と一度に大幅な引き上げとなっている。修正案は被保険者の税負担の緩和のため、所得割を5%に引き下げる案となっている。

基金も3億円が確保でき、滞納分の徴収努力により財源確保も可能性がある。国保財政の厳しい中、税の改正はやむを得ないが、修正案は被保険者の生活を守り、段階的な税改正により、安定した国保運営が持続できると判断し、修正案に賛成する。

(浦川康二議員)

### 賛成討論

厳しい経済情勢の中で農業・漁業・商工業者の皆さんは頑張っておられますが、所得の伸びはなかなか望めない状況にあります。今、国民健康保険税の滞納額が5億3千万円あり、毎年約5千万円が新たに滞納になっている現実がある。

そんな中に、一度に大幅な国保税を上げるのではなく、少しでも軽減するためにも一層の滞納額の収納に努めてもらいたい。それによって市民皆さんのご協力をより得るためにも大切であると考える。よって議会の修正案に賛成する。

(小田孝明議員)

### 賛成討論

国保税滞納の収納は県下一位である。しかし努力されても毎年約5千万円の滞納が増えている。原因は徴収を口座振替に頼った結果だと思われる。市の計画通り増税してもその半分は滞納分の穴埋めに使われるとしたら、税の公平から見ても非常におかしい。今後は徴収方法の改正を図り徴収率の向上と、医療費の低減化、特定検診率の向上、将来の国保制度の一元化等に努力すべきである。それまでは穏やかな税の改正で臨むべきで修正案に賛成する。

(柴田安宣議員)

### 反対討論

原案も、修正案も、市民の負担は重く、とても払える国保税にならないので反対する。

国保財政を黒字にするためには、引き上げは必要なかも知れないが、肝心要の加入者の実態をまったく見ていないとしか思えない。

政令減額の対象者が多いこと、滞納者が多いことを見ても国保税が高すぎることは明らかである。引き上げどころか引き下げるべきである。

よって修正案に反対である。

(上田 篤議員)

## 賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結 果	表 決 数	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	大久保信一	深堀善彰	前田哲	上田篤	町田康則	森山繁一	前川治	大久保正美	小畑吉時	元村康一	井上武久	柴田安宣	小田孝明	岩下勝	福田大東	町田誠和	岩永基	中村一	中村文昭	松尾昭
専決処分した事件の承認(平成21年度一般会計補正予算(第9号))	承認	24:1																									
国民健康保険税条例の一部を改正する条例	修正可決	14:10																									
平成22年度一般会計補正予算(第1号)	可決	25:0																									
工事請負契約の締結(重要文化財旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟保存修理工事)	可決	25:0																									

は賛成      は反対      は欠席      - は棄権

### 諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門に反対する意見書

平成20年3月に完成した国営諫早湾干拓事業は、幾多の豪雨や高潮により尊い生命や財産を奪われ多大な農業被害などを受けてきた雲仙市民にとって永年の悲願であった。

平成9年の潮受堤防の締め切り後は、その防災効果が遺憾なく発揮され、地元住民はようやく安心して眠ることができるようになったと喜んでいる。また、新干拓地では意欲ある農業者による大規模営農が開始され、背後地においても農地の汎用化による転作や施設栽培が拡大している。

平成20年7月の常時開門を命じた佐賀地裁の判決が示された際に、国はこれを不服として控訴し、開門調査の環境アセスメントの準備が進められている中で、平成22年4月28日に政府・与党の諫早湾干拓事業検討委員会は「開門調査を行うことが至当と判断する」との報告書を赤松農相に提出した。

このような国の動向は、地元住民にとって開門への不安を煽るだけであり、決して容認されるものではない。

平成14年の短期開門調査では、有明海全体への影響は認められないといった結果がすでに報告されており、有明海疲弊の原因を解明するためには有明海全体の検証が必要である。

地元住民は開門が及ぼす堤防内外への被害を懸念しており、防災や農業、漁業、環境等への影響を正確に検証するための環境アセスメントの実施が不可欠と考えている。

よって、国におかれては、雲仙市の実情と考えを十分に理解していただき、有明海の漁場や農業をはじめ、背後地の人々の安全・安心な生活を脅かすような開門を絶対に実施しないよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成22年5月18日

長崎県雲仙市議会

内閣総理大臣	鳩山由紀夫	様
農林水産大臣	赤松 広隆	様
環境大臣	小沢 鋭仁	様
内閣官房長官	平野 博文	様
衆議院議長	横路 孝弘	殿
参議院議長	江田 五月	殿

# 請願

## 今定例会で審議した結果

### （請願） 入札参加資格に関する請願

提出者：雲仙市災害連絡協議会  
会長 柴崎伊喜蔵  
紹介議員：町田 康則  
中村 勲

趣 旨：雲仙市内に本社を有する業者で工事ができない特殊工事を除いては、雲仙市内に本社を有する業者内での入札参加となるよう配慮を願うもの。

採決結果：採 択

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認（税条例の一部を改正する条例）ほか2件	承認
平成22年度一般会計補正予算（第1号）案	原案可決
岳辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定ほか4件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について承認3件、原案可決6件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成21年度一般会計補正予算（第9号））

**主なものとして、歳入**では市民税、特別交付税の増額、地域活性化・公共投資臨時交付金の新規計上、減債基金繰入金の減額、歳出では減債基金積立金の増額、過誤納等返還金の減額などを計上。

**質疑** 地域情報通信基盤整備推進交付金の減額理由は。

**答弁** 当初計画では伝送路を国見電話局から田代原へ引くと予定していたが、平成21年12月にNTTドコモが鳥甲山に基地局を設置することがわかったため、そこから伝送路を引いた方が経費的にも安くなるため、今回減額し、平成22年度へ繰り越して事業を行いたい。

**質疑** 携帯電話不感地帯の状況は。

**答弁** 田代原地区、岳地区、小田山地区を把握し

ており、その地区については、携帯電話事業者の努力により解消に向かっている。それ以外についても事業者が県などからの情報を元に計画的に解消を進めているため。

**質疑** 徴税事務費において確定申告時における臨時職員雇用の執行残に伴う減額となっているが、申告時に待ち時間があまりに長く、職員の手も足りないと聞いたが、職員の増員はできなかったのか。

**答弁** 受付・事務整理などは通常の臨時職員で対応できると思うが、確定申告の受け付けには専門的な知識・経験が必要であり、そのような経験者やOBも少なく、引き受けてもらえなかった。

**質疑** 低公害車低排出ガス車更新事業の対象車両については。

**答弁** 平成21年度の購入実績として軽貨物自動車7台、軽乗用自動車7台、ハイブリッドの普通乗用自動車2台、ハイブリッドの小型乗用自動車1台、小型乗用自動車クリーンディーゼル車1台、小型乗用車低排出ガス車1台の計19台を購入している。

**質疑** 公共施設地上デジタル対象事業は終了しているのか。

**答弁** 教育委員会所管以外の主な施設については終了しており、テレビが72台であった。

平成22年度一般会計補正予算（第1号）

主なものとして、歳入ではコミュニケーション助成事業補助金の新規計上、歳出では人事異動に伴う職員人件費の組み替え及び共済組合短期負担金率の

改定による補正、コミュニケーション助成事業等を新規計上したものを。

**質疑** 職員人件費において早期退職者5名、失職者1名による減となっているが、業務に支障は。

**答弁** 人事調整終了後、急遽の退職者が3名で、影響はあるが全体を350人へ向けて調整している過程であり、毎年このような状況は発生するのではないか。

**質疑** 職員の新規採用者・退職者の人数について。

**答弁** 平成21年度中の退職者が失職者も含め14名、平成22年度の新規採用者が4名、任期付職員採用が1名あり、毎年定年退職が15名、早期退職5、10名の計20、25名程度の退職が生じており、定年退職者の3分の1を目的に採用計画を行っている。

**質疑** 一般職を常勤職員として採用する場合は地方公務員法にそって、公

募などの手続きを踏むことになっているが、公募をしなかったのはなぜか。

**答弁** 国土交通省の割愛職員については、専門的な知識を有した職員を招いて2年間、市の土木職員の技術向上、設計図書

の審査、指導を目的に、また、元県職員の特定任期付職員については、2年間、市の指針である中期財政計画をつくるための基礎となる事業の評価、事務の棚卸しなどのスクラップアンドビルドを高い見識で取り組む必要があるため採用した。定年まで雇用する時は、公募などで採用する必要があるが、今の職員のレベルを高めるためには国・県との調整をし、いろんな実務を経験することが、職員に一番いいことではないかと思う。今回の件は、今後の反省点として、議会・委員会に相談しながら対応をしていきたい。

## 総務

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例）ほか5件	承認
雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	修正可決
雲仙市歴史資料館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
平成22年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案	原案可決
工事請負契約の締結ほか1件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認6件、原案可決4件、修正可決1件と決定しました。

主な案件の質疑内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成21年度一般会計補正予算第9号）

**質疑** 生活保護費返還金について、返還理由と対象世帯数は。

**答弁** 生活保護受給者の年金受給や働きによる収入が、後日判明したために返還が生じたもので、対象者16件である。

**質疑** 中国残留邦人生活支援給付事業について雲仙市内の対象者数と支援内容は。

**答弁** 対象者数は1名であり、支援内容は生活支援給付や、医療支援給付である。

**質疑** ふれあいの村運営費の減額について陶芸用窯を購入しなかったことによる減額ということだが、購入しなかった理由は。

**答弁** ふれあいの村については現在、ふれあいの村あり方検討委員会で、今後の方針的なものの審議中であることから、検討委員会の答申がまだ出ていないので、購入しなかった。

## 文教厚生

雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**質疑** 平成19年度に国保税の改定がなされているが、今年度まで改定されなかった理由は。

**答弁** 平成19年度に改定後、経済不況となり、市民の所得が下がる中、改定を行った場合、市民に重税感を与えること、国保運営協議会での国保税据え置きが妥当という結論に基づき据え置いていた。

**質疑** 医療費の伸びが抑制されていると聞くが、医療費は安定しているのか

**答弁** 平成21年9月までは伸びており、その後減少傾向だったが、平成22年3月頃から伸びており、安定はしていない。

**意見** 景気回復も無い中、今年度国保税の改定をされようとしているが、財政調整基金も約3億円あり、滞納徴収額など、財源が確保されている中で改定を行う必要は無い。滞納額が約5億3千万円

あるが滞納徴収施策を強化すべきである。

逼迫した国保財政の中で税率引き上げはやむを得ないが、被保険者の急激な保険税負担を考慮し、段階的な引き上げが望ましいとの判断により、所得割の引き上げ率を10%から5%となるような条例修正する動議が提出され、賛成多数で可決した。

原案に賛成する少数意見の留保があり、少数意見報告書の提出がありました。

**反対討論** 当然税は上げないほうがいいと思うが、平成18年度より基金を取り崩し運営してきた現状で、今回税率を改正し、滞納徴収の体制の強化や医療費の抑制対策など、平成22年第1回定例会において、文教厚生常任委員会より付帯決議を提案し、本会議において可決された。その実施期間としての3年間と、市民にわかりやすい税改正の方法として3年を目途に見直すということなどから、修正案では来年度

税率の改定が予想される状況の中、原案どおり改定すべきである。

**賛成討論** この不景気の中で執行部提案の税率に引き上げることは、被保険者から見ると非常に厳しい状況であり、上げざるを得ない状況は理解できるが、税率の修正を行い、段階的な引き上げを行うべきと考えるため、修正案に賛成する。

平成22年度一般会計補正予算（第1号）案

**質疑** 保育所施設補償事業について、国土交通省が施工する歩道工事において保育園舎の一部が支障となり、園舎の一部解体・改修工事が必要になったための補償金であるが、小浜町北野保育園については園児数も減少しており、園の存続など含めて、どのような協議がなされたのか。

**答弁** 北野保育園は現在社会福祉協議会が運営しており、存続問題については、社会福祉協議会の理事会・評議員会において平成23年3月末で廃園される方向であるが、廃園後は社会福祉事業な

どを行う法人などを対象に公募を実施する予定であり、施設の有効利用の観点から、土地・建物の価値を高め、今後の有効利用につながるため整備を行う。

重要文化財旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟保存修理工事に係る工事請負契約を締結することについて

**意見** 厳しい経済状況の中で工事高が減少しており、入札において地元業者を優先的に入れるべきではないか。

**意見** 今回の入札執行において、入札無効となつた業者があつたことなどで、雲仙市建設工事一般競争入札実施要綱に規定されている「事後審査型入札」方法について、事前審査を含め、今後、入札に関する要綱を検討すべきである。

### 【現地調査】

- ・鍋島邸（国見町）
- ・土黒保育所（国見町）
- ・ふれあいの村（小浜町）
- ・北野保育園（小浜町）



# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
入札参加資格に関する請願	採択
専決処分した事件の承認（平成21年度一般会計補正予算（第9号））ほか3件	承認
平成22年度一般会計補正予算（第1号）案ほか5件	原案可決
公有水面の埋立てに関する意見	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、採択1件、承認4件、原案可決7件と決定しました。

主な案件の質疑内容は次のとおりです。

専決処分した事件の承認（平成21年度一般会計補正予算（第9号））

**質疑** 有害鳥獣被害対策事業の減額理由がワイヤメッシュの材料である鉄の単価が下落したためとの説明であるが、その理由だけで約1千万円も減額になったのか。

**答弁** 鉄の単価の下落以外の理由としては、入札による減、及び県の事業から国の事業に移行したためである。

**質疑** 諫早湾水産振興特別対策事業の減額理由は、

**答弁** アサリの稚貝放流事業及び力キの種苗購入事業における購入単価の減、及び瑞穂漁協が計画をしていた漁場整備事業が工期の関係で実施できなかつたためである。

**質疑** 雲仙市農林水産ゆめみらい事業（提案型）の減額理由として応募が少なかったとの説明であるが、応募件数と採択件

数は、

**答弁** 応募件数は農業関係で2件、水産関係で1件、林務関係で0件であり、応募があつたものはすべて採択されている。

**質疑** 歓迎モニユメント整備事業において、設計については石原氏と随意契約を行い、施工については入札を行うとのことであるが、植えた草木の維持管理は誰がどのように行うのか。芸術品であるとの位置付けであるならば、管理においても設計を担当する石原氏の指示が必要になるのではな

いか。

**答弁** 市での管理となるが入札により業務委託を行いたいと考えている。維持管理の内容としては水やりや雑草の整理を考えており、樹木の剪定等については今後協議をしたい。



木指漁港（小浜町）

## 産業建設

**反対討論** 歓迎モニユメント整備事業は条例に違反していると思われるため、その補正予算が組まれた本議案には賛成できない。

専決処分した事件の承認（平成21年度国民宿舎事業特別会計補正予算（第4号））

**質疑** 望洋荘の経営状況が良好である理由をどのように分析しているか。

**答弁** 平成20年度に行つた改修工事によるリニューアル効果、職員の

退職による人件費の減、料理など良い評判が口コミで広がっていることなどが考えられる。

公有水面埋立てに関する意見

**質疑** 今後引き続き埋立ての計画があるのか。

**答弁** 単年度の事業であると聞いている。

**質疑** 口蹄疫とはどのような伝染病であるのか。

**答弁** ウイルスにより口の中に水泡ができる、ひづめの間に炎症を起こすなどの症状が見られ、食べたり動いたりすることができなくなり、徐々に衰弱し死に至るとい病気で、特に豚の感染力が強いと言われている。

**質疑** 今回の補正予算は飼料代を一部助成することであるが、12カ月

平成22年度一般会計補正予算（第2号）案

**質疑** 口蹄疫とはどのような伝染病であるのか。

**答弁** ウイルスにより口の中に水泡ができる、ひづめの間に炎症を起こすなどの症状が見られ、食べたり動いたりすることができなくなり、徐々に衰弱し死に至るとい病気で、特に豚の感染力が強いと言われている。



赤間漁港（南串山町）

を過ぎた牛については価格の低迷が懸念されるが、行政として何か検討はされているのか。

**答弁** 畜産農家からも価格補償に対する問い合わせがあつており、今後検討をしていきたい。

**質疑** 県南家畜市場、熊本県家畜市場以外に上場することはないのであるか。

**答弁** 担当課としてはこの市場以外の情報はつかんでいない。

**意見** 今後家畜市場が開催されない可能性も出てくることから、畜産農家に対する救済を早急に検討すべきである。

# 一般質問

17名の議員が登壇し、市政に対する質問を行いました。



町田 誠..... P 10	中村 勲..... P 13	福田 大東..... P 15	柴田 安宣..... P 18
大久保正美..... P 11	井上 武久..... P 13	元村 康一..... P 16	小田 孝明..... P 18
町田 康則..... P 11	浦川 康二..... P 14	大久保信一..... P 16	
平野 利和..... P 12	中村 一明..... P 14	松尾 文昭..... P 17	
坂本 弘樹..... P 12	酒井 恭二..... P 15	上田 篤..... P 17	

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。



まちだ まこと  
町田 誠 議員  
千々石町

## 子宮頸がん予防 ワクチン接種は

**町田議員** 最近、女性特有の疾病である子宮頸がん問題がある。この病気の発生原因としてヒトパピローマウイルスの感染が原因であることが判明した。その後子宮頸がんは予防できる病気であることが専門家同士のオピニオンで浸透しているようである。この問題を重視して日本でも近いうちに産科あるいは小児科、内科で希望があればワクチン接種が行われるが、問題なのは接種費用である。全額自己負担で約3

万円から4万円程度必要で、接種年齢として10歳代前半が最も有効で接種回数として半年間で3回の接種を行う。新潟県魚沼市では自治体が子宮頸がんワクチン接種費用を全額助成することが決定した。市としての取り組みを聞きたい。

**奥村市長** 議員指摘の100%助成であるがさまざまな情報を取り入れ、今後のことも含めて関係機関と協議している。

**東市民生活部長** ワクチン接種に対する正しい情報提供を行い、接種の公平性についても国県の動向を見て検討を進めたい。

## 口蹄疫に対する 市の対応は

ウイルスにより偶蹄類動物が感染する伝染病である。この病気は伝染力が強く膨大な経済的被害をもたらす。貿易の自由化が進展し外国から畜産物あるいは飼料など輸入が増えウイルスの侵入を完全にシャットアウトするのは困難である。2カ月に1回開かれる子牛の競り市も中止となり現在のところ開催の目処は立っていない。繁殖農家にとっては莫大な経済面、精神面で打撃を受け見通しがたたない。現状で立派な後継者もでき意欲の減退を心配している。市としてもJAなどとタイアップした口蹄疫対策促進の実態について尋ねる。

**奥村市長** 市の対策、鳥原半島3市における対策、県の広域対策に分けて協議する。

**町田議員** 口蹄疫は4月20日に宮崎県で発生した、



おおくぼ まさみ 吾妻町  
大久保 正美 議員

## 臨時・嘱託・非常勤を含む職員人件費は

**大久保議員** 合併における経費削減の大きな柱である人件費削減が逆に増加している。合併の意味がない。血税を湯水のように使い経営観念はあるのか不信任を持つ。市の自主財源（収入）の81%がさまざまな人件費に消えている。

- ①以前は部長課長がやっていた採用試験を外部の試験官にやらせている。
- ②当直に地元から採用せず長崎・大村・諫早から割高な人件費で採用している。（火事災害等緊急連絡時に地元で無い為自治会名を知らない）
- ③残業賃約1億5730万円。これは大卒者を72人新規採用した分に相当する。（旧吾妻町職員は約60人だったがそれ以上の人数）

残業の多い部署は毎年同じ部署である。その部署の人数を6人から15人にしても残業は逆に増えている。何をしているのか。

④国・県から高額の職員を雇っている。

この他にも指摘される人件費は色々ある。この点の工夫と節約をするならゆめみらい債（借金数億円）など発行しなくても学校の耐震補強工事費用はできる。

**嘱託職員採用について**  
業種（草刈り清掃作業）によっては作文は必要ない。作文の苦手な人は何の採用からも漏れてしまいが不公平ではないか。

**奥村市長** 議員の指摘のとおり増加している。議会の声があったことを受け止めもう一度検討していきたい。

## 愛野小浜間国道57号の4車線拡幅改良を

**大久保議員** 10年以上前より推進している愛野小



国道57号

浜バイパス建設については、鳥原半島出身のうたい文句で当選された知事は「費用対効果が低いので建設は難しい」とはっきり否定している。

それよりも愛野小浜間国道57号の4車線拡幅改良に全力投球すべきである。

①新規路線は人の流れが変わり従来からの町を疲弊させる。

②橋湾が一望でき観光ルートとして最高。

③トンネル（11）橋（4）が無くバイパスに比べ事業費が安い。

④渋滞や災害の危険性が高いため早急な対応が必要。

⑤バイパスは工事から全面開通まで何十年もかかる。国道の4車線拡幅改良なら出来た箇所から離合場所に利用できる。

**奥村市長** あらゆる可能性を探っていききたい。

まちだ やすのり 小浜町  
町田 康則 議員



## 市民の命を守る安心のための公立新小浜病院の今後は

**町田議員** 2月10日指定

管理者三校会から来年の契約期間到来に伴う辞退届けが出された。2月18日市長らが理事長と面談をし、その中で理事長は、契約が変更され監査で細かいことまで口を出すようになった。また交付金について情報公開がないこの点が辞退の理由ということであった。そこで監査報告書を見ると、①病院では紙おむつの値段が3倍近く高い。理事長の親族が経営している会社を通しているため。②自動販売機を設置して

るが電気代を払っていない。③テレビの契約も同様。④三校会本部経費2千万円は明確な説明を受ける必要がある。⑤指定管理者委託料の算出方法の見直しが必要。⑥理事長の給与が週2回、火曜、木曜の午前中だけの非常勤勤務状態であるのに、公立小浜病院から年収3千万円支払っている。などが毎年監査で指摘されていた。

これを見ると監査報告に対する条件闘争ではないか。また、病院の決算内容を見ると毎年1億円以上の利益が出ている。

しかし、医療収入から医療経費（経費は医師・看護師などへの人件費、薬代、電気代など）を引くと赤字である。だが、医療外収益として国から交付金を出しているため赤字になっていない。赤字補てんをしないとないながら、交付金を出しているから赤字が出ない形になっている。交付金からの負担金は両市でいくらか。

**奥村市長** 救急指定交付金、病院事業債元利償還金交付金、病院事業病床交付金などで、平成22年度構成2市の負担金の総額は2億376万円である。

**町田議員** 5月6日の病院の朝礼で理事長が病院を縮小し、引き継いだ時の状態にして渡すと言っておられ、これは医師、看護師を雇用しているのは宮崎病院なので空っぽにして渡すとして、8月に2人、10月に1人の常勤医師を転勤させようとしている。患者さんや看護師、医師、地域の市民の方も大変不安に思っている。指定管理協定書に基づき指定取り消しなど何らかの行動を取らないと地域医療が崩壊してしまふと思うが対策は。

**奥村市長** 管理者として一番大事なのは、周辺に住む方々の地域医療である。現実を受けとめて対策を進めていかなければならないと思っている。



ひろの としかず 国見町  
平野 利和 議員

### 子宮頸がんワクチン公費助成を

**平野議員** 子宮頸がんは年間約1万5000人が発症し、約3500人が亡くなっていると推測されており、全員のほぼ100%がウイルスの感染によるものである。発症原因がわかつている唯一のがんである。子宮頸がんワクチンの有用性は明らかだが、高額な自己負担がネックになっている。女性の命を守るワクチン公費助成を。

**奥村市長** 子宮頸がんに対する知識の徹底化と定期健診の受診率向上に向けた取り組みをし、国、県の動向を踏まえながら研究する。

### 障害者支援体制は

**平野議員** 「よむべえ」機械が導入されておりますが、経緯と台数、金額と活用状況は。

**酒井市民福祉部長** この機械については、活字、文書を読み取り、音声で読み上げるものです。国見図書館、吾妻、愛野、小浜の図書室に設置しており、価格は4基で79万3800円で100%の補助である。平成21年度の利用状況は全館で4名である。

**平野議員** 周知徹底をしない、宝の持ち腐れではないのか。税金を投入しての機械導入であるので、もっと市民の皆様を活用していただくようにお知らせしていくべきとお知らせしていくべきと考える。同じく公明党が視覚障害者の方があらゆる生活面で簡単に文字情報を得られる道具が我が国で開発されている事をつかみ、全額国費で補助する予算を獲得した。雲仙市はこの国費補助はどうなっているか。

**酒井部長** 「よむべえ」の購入をしている。



音声読書機「よむべえ」

### 野犬の被害対策は

**平野議員** 山間部で農作物に対する野犬の相談が相次いでいる。雲仙市として被害の把握はできているか？相談件数と農作物被害は。

**酒井農林水産商工部長** 有害鳥獣による農作物の被害調査を行っているが特に野犬での報告はあっていない。

**東市民生活部長** 平成21年度は309頭位捕獲をしている。飼われている方が、きちんとルールを守り終身飼養されるようにお願いし、啓発していきたい。

さかもと ひろき 国見町  
坂本 弘樹 議員

### 財政健全化は

**坂本議員** 日本国の財政赤字を踏まえ、合併算定替から一本算定への移行対応は。

**奥村市長** 日本の借金額は大変大きいものであり、財政の方向性については厳しいものを感じている。市の今後の財政については、基幹産業を成長させ、税収獲得に頑張りたい。

**畑中総務部長** 合併特例期間が完了する平成33年度以降予算規模90億円程度の縮減をしなければいけない。選択と集中を基本に中期財政計画を確実に実行し、急激なサービスの低下を招かないよう、段階的に予算規模を縮小していきたい。

**坂本議員** 市の資産・負債・資本が明らかになる貸借対照表の導入はできないか。

**畑中部長** 段階的に資産台帳を整備し、貸借対照表をはじめとする財務情報を市民に提供するよう取り組んでいる。

**坂本議員** 市の基金を高率運用できないか。

**溝内会計管理者** 金利の高い2年・3年定期の運用を検討していきたい。債券運用については、基金の性質や活用状況を把握し慎重に取り組みたい。

### オリーブを市のブランド商品へ

**坂本議員** 改正農地法施行に伴い、農地の効率的な利用の確保が求められ、耕作放棄地の解消が求められているが、その一環として、オリーブ樹の植樹事業で市のブランド化を図る考えは。

を支援していく。現在、様々な農畜産物がある中で特定の作物を選定・奨励する支援策は講じていないため、オリーブに限って支援策を講じることは考えていない。現在活用できる事業としては、国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業、市の食のくまなく支援事業にて作物導入の初期投資に活用しやすいよう、補助率を2分の1に設定しており、活用してもらいたい。

**坂本議員** 耕作放棄地にオリーブを植樹するために建設業の仕事になる。オリーブを加工することにより雇用が生まれる。販売することにより所得が生まれる。また、観光農園としての利用方法もある。耕作放棄地の所有者が乗り気になるような政策を全執行部の皆で知恵を出し合い、ブランド化できるように前向きに考えてもらいたい。



オリーブ圃



なかむら いさお 千々石町  
中村 勲 議員

## 市道小浜仁田 峠循環道路関 係について

**中村議員** 平成21年4月1日付で、長崎県から雲仙市へ移管され、移管と同時に自動車等の通行料が、無料化されて、今年3月31日で、満一年を経過したので、以下の点について問う。  
1、通行料の無料化に伴う通行車両数と、宿泊客の動向について、平成20年度と平成21年度の数字を明確に説明願いたい。  
2、通行料の無料化に伴う道路の全般的な管理と維持に伴う雲仙市の経費負担について。  
3、循環自動車道路の改修及び補修実績と、今後の計画について。  
4、雲仙・小浜地区を含めた雲仙市全般にわたる今後の観光客導入の方策

について。

**奥村市長** 有料であった平成20年度は、9万8987台で、無料開放した平成21年度は14万8586台となり、約50%の増になっている。雲仙市の宿泊客延べ人数は、平成20年度13万96353人に対して、平成21年度は、12万76189人で、対前年比、7・3%減となっている。一方、観光客数の動向は、雲仙市全体で、402万8798人で、3・6%の増内日帰り客は、275万2609人対前年比9・6%の増となっている。

**緒方建設整備部長** 市に移管された後も雲仙観光協会に委託するよう予算化されていたが、議会からの指摘を受けて、囑託職員による直接管理とし経費の節減を図った。人件費、道路用地借地料、事務所経費、巡回車両経費年間合計933万円かかっている。

**中山孝観光物産まちづくり推進本部長** 島原半島ジオパークを軸に国内外に向けて情報発信を行い、まち歩きなどモデルコースの作成を行い、雲仙市での宿泊滞在時間を増や

す施策に取り組んでいる。また、来年3月九州新幹線鹿児島ルートが全線開通するので多比良港を雲仙市の海の玄関口と位置付け、熊本県の新玉名駅から長洲港を経由して雲仙市を巡るコース等、新しい観光ルートの開発に取り組んでいきたい。

**中村議員** 市長説明の数字は、市全体の数字と思うが、雲仙小浜は、どのようになるのか。車は、増えても宿泊客が減ったのでは意味がない。

**奥村市長** 前のは、市全体である。雲仙・小浜は、平成20年合計64万9385人、平成21年59万9007人で、減少している。  
**中村議員** 姉妹都市関係については、次回に質問する。



市道小浜仁田峠循環線

いのうえ たけひさ 南串山町  
井上 武久 議員



## 雲仙古湯地区 街なみ整備 助成事業

**井上議員** 国・市合わせで3分の2の補助を受け、建物の改修を行っているが、残り3分の1の個人負担分を市は更にわがまち再生事業（費）から5分の4を補助金として交付している。ちなみに平成20年度は全額補助である。今後も同様に高い率で補助するのか。

**中山孝観光物産まちづくり推進本部長** 平成22年度も個人負担分3分の1の5分の4を補助する予定で進めている。

**井上議員** 今、部長が読み上げたわがまち再生事業補助金交付要綱はホームページで公開されている要綱と異なっているが、一部改正がなされたのか。

**中山本部長** ファサード整備事業を行うために要綱を改正した。

**井上議員** 個人負担分を減らすため要綱を改正した上、2年余も公開していない。市長は常々情報公開と言ってこられたが、議会にも報告がなくホームページにも掲載してないのは、この事業を市民や議会に隠すつもりだったのか。

**奥村市長** この件については本当に申し訳ない。

**畑中総務部長** 事務上の不手際であり、大変申し訳ない。

**井上議員** 一事業に二つの補助金が重複交付されており、不当性があると

考える。補助金を受けた方々で市税が一千万円単位で滞納されると思うが、違っていたら指摘を。  
**東市民生活部長** 守秘義務があり言えない。

**井上議員** 他の事業では滞納があると制限措置が適用されるのに、この事業には制限がないのか。真面目な市民はきちんと税を納めている。国立公園だから滞納があってもいいのか。こういったことが本当に許されるのか。

**中山本部長** 事業の目的が達成できないと判断し制限をしなかった。税のことまで考えてなかった。

**奥村市長** 怒りも十分わかります。本当に不手際があり、申し訳ない。

**井上議員** 税は公平に課税徴収してこそ公平性が保たれる。市民自ら納得して納税するような行政運営をお願いしたい。



うらかわ やすし 吾妻町  
浦川 康二 議員

## 庁舎建設の方向性と決断の時期は

**浦川議員** 庁舎建設市民懇話会から3月に答申書が提出され、結論で「現在の厳しい財政状況下にあつてはまずは市民生活に直結する事業が優先すべきである。従つて、新庁舎建設は行わず既存施設での行政運営を基本として職員数の削減や組織の見直し等、最小限の経費での施設整備を行う」とあるが、市長は答申を十分尊重し、方向性をいつまでに決断するのか。

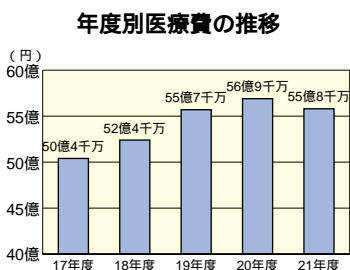
## 国保税の大幅な引き上げを減額せよ

**浦川議員** 本年度国保税を大幅に引き上げる条例を提出しているが、この大幅な引き上げに対し市長は、少しでも減額の方策は検討したのか。

**奥村市長** 引き下げについては検討していない。

**浦川議員** 被保険者は昨年度約3・7%所得減で厳しい生活となつている。基金残高も平成21年度と同額の3億円が確保できるので、一度で大幅な引き上げでなく、国保税の引き上げ率を5割若しくは3割減額を提案する。

**奥村市長** 議員の意見に



については、真摯に承つておきたい。

## 国及び元県職員の高額での職員採用は必要か

**浦川議員** 国及び元県職員の採用の理由は。

**奥村市長** 国からは土木技術のスキルアップのため、県からは市の財政・事業評価等高い見識で市政に取り組むため必要。

**浦川議員** 市に優秀な職員が数多くいる、幹部職員の指導で能力向上を図ってもらいたい。また議会は行革と人件費節約の観点から、3月定例会で部長及び局長増員の条例を否決したが、市長は一方では国及び元県職員を高額で採用している。行革への取り組みは。

**奥村市長** 合併特例債が切れるまでの間、いろいろなシミュレーションといるんな計画を模索するため一つの人材投入と



なかむら かずあき 南串山町  
中村 一明 議員

## 道路行政について

**中村議員** 水ノ浦小津波見線の今年度の計画と最終は何年頃になるのか。坂上奥のため池より赤間公園までの進捗状況は。南串山文化センターより京泊漁港に通ずる路線の計画はあるのか。坂下線の整備については。

残り450mは用地取得を先行させながら平成24年度の完成に向け事業を推進する。

**緒方建設整備部長** 南串山文化センター付近から京泊漁港までをつなぐ道路整備構想はあつたが、雲仙市になつてからは

あつていない。新事業として計画は厳しいと考へている。坂下線については大型事業として6路線を実施しており道路拡張は考へていない。部分的に傷んでいる箇所は随時対応する。

**中村議員** 京泊漁港へ通ずる道路は幅員が狭く大型車両の通行に大変不便である。町審議会からも上つており計画に上げてほしい。

**奥村市長** 水ノ浦小津波見線は国道251号に接合時点から赤間運動公園まで830mの整備計画である。進捗率は35%となつている。平成22年度の計画は坂上奥工区延長100mを予定しており、

であり将来的なことにな

## はり、きゆう 施設費の助成について

**中村議員** 南串山町内には施設がないため加津佐、口之津方面に通院しており市の補助券を南島原市でも利用できないか。

**酒井市民福祉部長** 南島原市は補助額が1回に千円1人10回まで、雲仙市は1回に700円で1人36回まで、南串山町に施設がないため不便をかけており市外において隣町程度の指定ができないか、十分関係者と協議していきたいと考へている。



さかい きよとし  
南串山町  
酒井 恭二 議員

## 答申を受けて の庁舎建設問 題の対応は

**酒井議員** 長い間、懸案の庁舎問題について、市民懇話会の答申が3月に出されたが、それを受け、今後どの様にして、結論を導き出されるのか。結局のところ、庁舎の問題は、三位一体改革による市財政の問題であると考えるが、懇話会の考察の中に表示された、千々石庁舎の増築パターン、吾妻庁舎を現状のまま使用のパターンは、現実問題あり得ないパターンであると考えらる。

**奥村市長** 現在まで財政的に厳しいところがあり、結論が出せなかったが、平成22年度中には方向を示したい。結論が出せなかった理由については、三位一体改革だけではな

い、様々な財政の問題であると考えている。パターンについては、いろんな可能性を考慮しなければならぬので、現時点では答えられない。

## 行政改革の 進展は

**酒井議員** 正職員削減は計画通りに進んでいるが、その分、嘱託職員の増員となっている。これは計画通りなのか。将来、正職員数350人の時点で、嘱託職員300人とならないのか。

**畑中総務部長** 正職員の減によって、人件費総額で見ると効果が出ている。

**奥村市長** 合併特例期間の終了時点で350人を目標としており、嘱託職員で補うことはせず、正職員でやることを目標としていきたい。

**酒井議員** 事務量の二割減の進捗状況はどうなっているか。二割減による職員総数の減少は図れていないか。

**畑中部長** 合併時点で事務量が1564件だった

が、平成22年度の事務量は1241件で、事務量の21%の削減ができています。しかし、新しいサービスへの拡大により、嘱託職員が37名増えている。

**酒井議員** 指定管理者制度の導入による財政効果は。

**畑中部長** 現在18施設で導入されており、経費削減が図られているが、指定管理者制度導入による効果が望めない施設も多くあり、今後は施設の整理区分を進めていく。

## 総合支所の 今後は

**酒井議員** 年々、各総合支所では、職員数減となっているため、今後の支所の機能はどの様になっていくのか、市民は不安がっている。現状で、多くの人は支所で事足りていると思っている。今後、身近な、背中のかゆい所に手が届くような機能が、各支所には必要だと考えるが、市長の考えは。

**奥村市長** 私も同意見である。



ふくだ だいとう  
小浜町  
福田 大東 議員

## 外国語教育の 実態は

**福田議員** 英語教育改革プランの行方はどうなっていくのか。

**奥村市長** 国際化が進展する中、児童生徒への外国語教育は大変重要な教育施策である。雲仙市の基本方針である「明日を担う人づくりと誇り、ふるさとづくり」の中の主要施策として、国際性豊かなひとづくりを掲げ、国際理解教育の推進として、外国語によるコミュニケーション能力の向上や豊かな国際性の醸成を積極的に推進している。小・中学校の英語教育においてはA・L・Tを昨年度1名増員し6名体制で各学校への派遣回数を増やし、本物の外国語に触れる機会をより多く設けるなど、充実を図っているところである。

**塩田教育長** 従来から小学校第3学年から第6学年で年間10時間程度の英会話学習に取り組んでいる。なお、平成23年度からの新学習指導要領では第5、6学年に外国語活動が新設となる。

**福田議員** 予算の削減、廃止の動きが出ているが、予算執行の動きは要望されていないのか。

**塩田教育長** 全国都市教育長会議の中でも、具体的なことについて要望していくように働きかけていきたい。

## 行財政改革の 進捗状況は

**福田議員** 今経済不況、大企業では人件費削減に躍起になって、まず正社員を削減し、パートを雇う。そういう形で一番やってはいけないことをやっているのではないかと、事業の縮小は考えていないのか。

**畑中総務部長** 事務量については2割減っている。

## 平成新山への 登山規制緩和策は

**福田議員** 平成新山の登山規制はどうなっているか。

**東市民生活部長** 災害基本法第63条の規定に基づき、警戒区域を設定し、立ち入りの制限を行ってきた。本年2月開催された第64次警戒区域設定等調整会議において4月1日から1年間の延長が決定している。

**福田議員** 普賢岳北側斜面を活用した登山ルート協議は。

**東部長** 現在、現地調査が行われているが、会議が年1回のため基本的にそれに向けて審議をしていくことになる。

**福田議員** この登山ルートができ上がると観光効果はどのように考えられるか。

**中山本部長** 登山愛好家が五百万人から一千万人というふう言われている。登山家にとっては、一度登ってみたい憧れの山だと聞いている。平成新山は新しいトレッキングコースなどが設定でき、大きな効果が期待できると考えている。



もとむら やすかず 小浜町  
元村 康一 議員

## 愛野・小浜 バイパス建設は

元村議員 道路網の整備

は、各種産業の振興及び生活環境の向上を図る上からも重要な課題である。特に愛野・小浜間は国道57号が一本あるだけで、広域農道もこの区間のみが途切れており、災害時の代替ルートの確保や慢性的な渋滞解消策としても必要である。平成11年に半島1市16町でバイパス建設期成会が設立され、合併後3市が引き継ぎ、奥村市長が会長としてこれまで国や県等に要望を続けている。昨年3月23

日金子知事に要望した折に、県央地域へのアクセス時間の短縮や災害発生時の代替ルートの確保などの課題があることから調査をしたいとの答弁があった。県もやっと動いたと期待していたが3月18日の県議会で、金澤議員の質問に対し中村知事（3月2日就任）は、「検討の結果バイパス整備により、5分から10分程度の時間短縮が図られるものの、対象地域は高低差があることから、いずれのルートも事業費が多額となり、費用に比べて便益が小さくなっている。今後は時間短縮による直接的な便益だけでなく、多様な便益について研究し、コスト縮減が図られるよう検討したい」という答弁であった。半島住民の大きな期待を受けて当選した知事でもあり、結論をもう少し遅らせ、新知事として自分が直接に

関係市の長年の切実な要望を聞いた上で出してもよかつたのではないかと思っている。国道57号一本しかない半島西南部の住民が望んでいるのは、災害時の代替機能の確保と不安解消が必要だと言っている。費用に対して効果が相当低いということが理由であれば、地方の道路建設は大変厳しくなるのではないかと。市長はこの答弁を聞いてどう思うか。

奥村市長 島原市、南島

原市と協力しながら、半島地域の農業や観光など地域産業の振興を図る上からも、半島内の一体化した高速交通アクセス向上に資する道路整備が必要だと考えている。

今後、愛野・小浜バイパス建設期成会においても、要望内容について研究し、県や国土交通省と関係機関に要望活動を行っていききたい。



おおくぼ しんいち 吾妻町  
大久保 信一 議員

## 口蹄疫対策は

大久保議員 宮崎県で、

4月20日に発生した家畜伝染病、口蹄疫は、確認以降多くの牛、豚等の偶蹄家畜に感染している。市、県の防疫対策は、また市場中止による、家畜の滞留支援の考えは。

奥村市長 4月20日に、

宮崎県で発生した家畜伝染病、口蹄疫は現在も拡大し、6月8日で発生件数279件、処分予定頭数18万5千頭を超えている。本地域も5月市場が中止され、農家の負担が増大し、その対策を半島内の3市で検討し、感染

防止に努めている。

酒井農林水産商工部長

口蹄疫の疑似患畜が確認後、5月3日に国見町の有明フェリーに消毒マットを設置し、国道及び堤防道路の車両消毒を県に要望し、庁舎の入口に踏込槽とマットを設置している。関係農家に対しては、消石灰6袋を無償配布している。市場中止による滞留支援は、今議会中に支援策を提案する。

7月市場の開催いかんによつては、独自の支援策を検討する。

## 排水門開門による影響は

大久保議員 諫早湾地域

は、多くの集中豪雨や台風による高潮に苦しめられ、多大な被害を受けてきた。平成19年の完成後、安心安全な生活が確保された。排水門開門調査がされた場合の影響については。

酒井部長 諫早湾干拓事業は、平成20年度から営

業が開始され、入植された経営体が平均1億円の投資を行い、環境保全型農業が意欲的に展開されている。現状で開門されると、大潮の満潮位2.5m以下の背後農地が2700ha、住宅800戸が洪水等の被害を受ける恐れがある。農地の塩害、潮風害は計り知れなく、農業用水の確保もできなくなり、多くの影響を受けると想定している。



車輛消毒の様子





まつお ふみおき 愛野町  
松尾 文昭 議員

## 陸上競技場の建設は

**松尾議員** 地理的にも愛野が市の中心であり、建設するのは賛成であるが、既存のグラウンドを潰してまで、建設するのは絶対反対である。他の場所に建設する事を強く要望するが。

**奥村市長** 陸上競技場の問題は、議会でも意見があり、その意見を踏まえたうえで、4月に行われた自治会長会議で十分説明した。自治会長からの意見も重ねて、検討し、十分議会での意見も理解

している。

## 庁舎建設は

**松尾議員** 庁舎建設については、庁舎建設市民懇話会の答申と、議会の意見等をふまえて、平成22年度中には結論を出すとの答弁であるが、逆に市長の考えを議会に提示したらどうか。

**奥村市長** 他の議員の質問に答弁したとおり、さまざまな見地から検討を重ねて平成22年度内に方向性を示したい。



雲仙市役所

## 口蹄疫対策

**松尾議員** 口蹄疫は同僚議員の質問の答弁で理解できたが、今だに終息の兆しが見えない。鳥インフルエンザの場合平成16年に発生し、5年間でやっとおさまった。口蹄疫対策はもちろんであるが、他の家畜等についても、防疫を強化してほしいが。

**酒井農林水産商工部長** 口蹄疫について対策をしているが、口蹄疫に絡んでの話であって、普段からそういった組織立てをすべきだと指示を受けており、ぜひそういった形でのマニュアル等の確立をして早く知らせたい。



うへだ あつし 瑞穂町  
上田 篤 議員

## 高すぎる国保税、引き上げよりも引き下げを

**上田議員** 国保税の滞納が多いが、ほとんどの人は「払いたくても払えない」状況にある。引上げをすれば、払えない人が増える。高いとは思わないか。

**奥村市長** 安くない、と思う。

**上田議員** 国保税の引上げにより年所得200万円の世帯で、国保税の所得に占める割合が2人世帯では、13%が14・5%に、4人世帯では16%から17%になる。他の税金や年金を払えば残りは月に10万円ぐらいになって

しまつのではないか。

**奥村市長** 厳しい現実を突き付けられた思いだ。

**上田議員** 社会保険、共済保険と比べても国保はずっと高いし、生活保護基準よりも低い所得でも高い国保税を払わなければならぬのだから、払えなくても当然ではないか。

**奥村市長** 本当に厳しいと思う。

**上田議員** 国保財政が大変なのは、国の負担金が削減されたからだ。国保収入への国庫負担が30年前に64%だったのに3年前は25%になっている。

**奥村市長** ある程度の見直しも必要かも知れない。

## 井戸は生活に密着。事前調査するべき

**上田議員** 南串山町の農道新設にかかわる井戸水

問題は、市が市民の暮らしや財産を尊重するのかわりかという問題だ。井戸の調査が必要ないという根拠は何か。

**酒井農林水産商工部長** 環境影響評価法、長崎県環境影響評価条例、農政局の基準書などを検討しての結論である。

**上田議員** 工業者によれば、井戸は生活に密着するものなので調査するのが普通だそう。

**上田議員** 工業者によれば、井戸は生活に密着するものなので調査するのが普通だそう。

**酒井部長** 市が提供した資料によりその会社が書類を作った。

**上田議員** 専門業者が調査せず（公的な）書類を作ることは、やってはならないことではないか。職員が調査したとする日時についても、本人との間で異なっている。



しばた やすのぶ 愛野町  
**柴田 安宣 議員**

諫早湾干拓排水門の開門調査に関する今後の対応

**柴田議員** 開門に伴う潮位上昇で背後地の防災、田畑の湿田化や一級河川千鳥川、有明川等の危険性について対策は考えているか。

**奥村市長** 市としては国が当初示した方針に基づき、環境アセスメントを実施し、これを判断の第一要因とすべきであると主張している。

**酒井農林水産商工部長** 現状のまま開門されれば、調整池に海水が流入し潮位が2・5m上がるため湿田化して作付が不能になると予想している。

**緒方建設整備部長** 堤防内の一級河川千鳥川、有明川等すべての河川及び護岸は潮位上昇の影響を受け豪雨と満潮が重なる流域住宅地についても被害が懸念される。

**柴田議員** 全国の干拓は水田だが、諫早干拓は畑である。堤防内の潮位をマイナス1mに維持して営農活動ができています。

開門で潮位が上がれば海水の浸透で塩害は必至である。また湾内の水は干拓地を含め流域の水不足のため農業用水として有効活用されている。今後は、現状を維持しながら、地域と農、漁民の共存できるためには中央部に排水門の新たな設置を含めた運動を展開していただきたい。

**県央県南広域環境組合** のごみ処理経費拡大に伴う損害賠償の裁判

**柴田議員** 裁判の原因は平成17年4月から平成20

年3月までの3年間で運転管理費が、性能保証費書の2倍を越す19億7千万円余の経費増になったことへの損害賠償裁判である。雲仙市は年間約5億3千万円負担しているが裁判が敗訴の場合、炉の20年間の稼働で市民の新たな負担増が27億6千万円もの膨大な金額となる。ごみ処理場は年間8万665tのごみを人件費、用役費、炉の補修費等の年間経費総額5億8700万円以内で稼働できるとJFEと組合は契約してスタートしたのだから、裁判は100%勝つのが当然である。市長は副管理者として、今後の裁判の取り組みについてどう考えているか。

**奥村市長** 裁判の状況については、組合の主張を立証する、書面、証拠を整え、抗弁書を裁判所へ提出を済ませたと聞いている。今後は弁護士と相談しながら勝てる裁判になるよう取り組んで行く予定であると聞いている。



おだ こうめい 国見町  
**小田 孝明 議員**

口蹄疫予防万全に

**小田議員** 宮崎県内の家畜伝染病の口蹄疫が発生し、6月9日現在279農場18万5999頭、ウクチン接種が12万頭、合計約30万頭の牛・豚を殺処分する莫大な損害になっている。市の予防体制と万一のことを考えて市内家畜農家の和牛・乳牛、豚の家畜共済の加入推進については。

**奥村市長** 5月27日市口蹄疫防止対策本部を設置した。家畜共済加入率は乳用牛96・5%、肉用牛96・6%、肉豚9・1%である。未加入分の助成は困難であるが、共済への加入推進は行う。

**小田議員** 5月の家畜市場は中止になり子牛を抱える畜産農家の飼料代等の負担や経済的負担は大

きい。7月の家畜市場を無理して開場することないように支援策を。

**奥村市長** 子牛を抱える畜産農家への支援策は半島3市が協議し検討している。

**酒井農林水産商工部長** 市場の再開にはかなりのリスクがあるので今以上の防疫体制を必要とする。

人のこころ大切に

**小田議員** 平成22年度みずほすこやかランドのパート職員募集資格が60歳未満となっている。平成20年度嘱託職員の応募資格65歳未満で採用されていた人が今回受験できなくなった。不可解である。

**塩田教育長** みずほすこやかランド施設管理協会は、業務の精査をし、大きな赤字部分が出たことで見直しをして年齢は60歳までとした。ということであった。

**小田議員** 真面目に勤めてきた人にとって酷である。市の施設である。市民の信義、信頼を損う行

為は適正でない。

市役所は個人商店ではない

**小田議員** 職員の民間での経験を生かす交流を実施してはどうか。

**畑中総務部長** 職員の削減の中、今後研究したい。

**小田議員** 本年度の職員名簿に見慣れない人が載っている。一般職員か特別職員か。

**奥村市長** 一般職である。

**小田議員** 一般職であれば公開募集したのか。

**畑中部長** 公募していない。

**小田議員** 地方自治体の職員の採用は地方公務員法に則り公開募集による競争試験と選考である。

**奥村市長** 意見を重く受け止め一層職務に精励してもらおう。今後は意見を十分に配慮していきたい。

その他の質問事項

国体のサッカー場について

# 平成21年度政務調査費(後期)報告集計結果

## 政務調査費とは？

議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されるお金です。  
 雲仙市では、一人当たり月額15,000円〔年額180,000円(半期ごと90,000円)〕が支給されます。  
 平成21年11月に議員の改選が行われたため、今回の報告は平成21年度後期分のみとなっています。

**政務調査費交付額**：90,000円×25名＝2,250,000円(1名は申請なし)

内 訳	金 額
当 初 交 付 額	2,250,000円
返 還 額	341,469円
交 付 確 定 額	1,908,531円

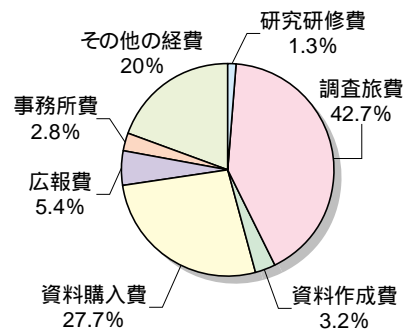


【返還額内訳】 返還者13名	
1万円未満	4名計 18,953円
1万円以上5万円未満	7名 計159,010円
5万円以上9万円未満	2名 計163,506円

## 政務調査費支出報告額

(単位：円)

科 目	金 額	主 な 支 出 項 目
研 究 研 修 費	26,000	各種セミナー参加料
調 査 旅 費	860,300	先進地視察旅費、各種調査旅費
資 料 作 成 費	64,449	事務用品費、消耗品費、コピー代
資 料 購 入 費	557,173	新聞購読料、各種書籍購入費
広 報 費	109,590	議会報告書印刷代、議会報告書配布代
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	55,903	プリンターインク代、備品修理費等
そ の 他 の 経 費	341,166	携帯・固定電話調査目的使用料
合 計	2,014,581	



**【注意】**  
 交付確定額(1,908,531円)と政務調査費支出報告額の合計(2,014,581円)が合わないのは議員1人当たり9万円が上限となるため政務調査費支出報告額の合計が多くなっています。

## 全国市議会議長会表彰



(写真左：柴田安宣議員 写真右：小畑吉時議員)

平成22年5月26日に開催された「全国市議会議長会第86回定期総会において、長年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により、雲仙市議会では2名の議員が表彰を受け、今定例会の開会日に議場において表彰状の伝達が行われました。

**柴田安宣議員(議員15年以上)**

**小畑吉時議員(議員10年以上)**

勤続年数については、町議会議員の年数を2分の1通算しています。

会期 9月1日(水)～9月24日(金)まで(24日間)

月日	曜	会議時刻	種別	内容	月日	曜	会議時刻	種別	内容
9月1日	水	10:00	本会議	開会、議長報告、市長報告 議案上程・議案理由説明	13日	月	10:00	本会議	議案質疑・委員会付託
2日	木		休会	議案調査日	14日	火	10:00	委員会	付託案件審査 (文教厚生委員会)
3日	金		休会	議案調査日	15日	水	10:00	委員会	付託案件審査 (産業建設委員会)
4日	土		休会		16日	木	10:00	委員会	付託案件審査 (総務委員会)
5日	日		休会		17日	金	10:00	委員会	委員会審査予備日
6日	月	10:00	本会議	市政一般質問	18日	土		休会	
7日	火	10:00	本会議	市政一般質問	19日	日		休会	
8日	水	10:00	本会議	市政一般質問	20日	月		休会	敬老の日
9日	木	10:00	本会議	市政一般質問	21日	火	10:00	委員会	委員会審査予備日
10日	金	10:00	本会議	市政一般質問	22日	水	10:00	委員会	議会運営委員会
11日	土		休会		23日	木		休会	秋分の日
12日	日		休会		24日	金	10:00	本会議	委員長報告 質疑・討論・採決 閉会

あくまでも予定ですので、市政一般質問者数などにより日程が変わることもあります。  
詳細については、8月25日(水)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

宮崎県で家畜伝染病、口蹄疫が4月20日に発生が確認以降、28万8千頭の偶蹄家畜が殺傷処分がとられた。本市においては、雲仙市口蹄疫防疫対策本部を設置、関係機関と行政が一丸となつて、家畜農家の経営の安定と発展のため尽力されているなか、平成22年第2回雲仙市議会定例会が6月2日より23日までの22日間の会期であり、入札参加資格に関する請願1件を採択、専決処分した条例3議案、補正予算8議案を承認、国民健康保険税条例の一部を改正する条例を一部修正可決、15議案を可決決定された。

## 編●集●後●記



また、一般質問に17名が登壇、行政のチェック機能の徹底を図り市民の皆様が豊かで安心安全が実感できる雲仙市実現のため、梅雨空を吹き飛ばすような活発な議論が展開された。  
大久保信一

### 議会広報編集 特別委員会

- 小田田 孝 明
- 上田 一
- 中村 信一
- 大久保 康二
- 浦川 利和
- 平野 恭二
- 酒井 弘樹
- 坂本 幸
- 林田 幸

○委員長  
副委員長